

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向（11月）

製造業

酒類製造

【県内全域】

酒造りのシーズンに入り、売上は前月比伸長も、対前年比相当減少した。価格帯が比較的高い特定銘柄酒は引き続き好調も普通酒他、価格帯の低い酒が相変わらず不調。全国的に見ても同様の傾向。

製材

【県内全域】

業界は大きな変化はないが、雪の影響で営業が麻痺してしまった。他県でのバイオマス発電の影響か、素材（原木）の引き合いが上向きつつある。

製材

【木更津】

11月米材船入港1隻、他の入港はなし。在庫は減少傾向。

印刷

【県内全域】

1. 大手印刷会社や用紙メーカーの新しい動きが顕著。
2. 紙の出荷量が減っている。
3. 通販印刷のCMが増えた。

鉄工

【千葉】

足元の組合員各社の動向は明るい兆しがみられない中で、横ばい状態での推移が長期化している。設備投資動向として、組合員中堅2社が、将来に向けたライン設備等大型設

備投資に着手しており、そのことは心強く感じている。

機械部品製造

【野田】

前月とあまり変わらない。

機械部品製造

【流山】

景況が上向いている感じはしない。月末ころから受注が増えている業種もある。

機械部品製造

【柏】

得意先の受注については各々停滞。開発・軽量化、コスト改善等の依頼は増加。

金属製品製造

【船橋】

景況の変化は、回復傾向にあるが、短納期品が多く、対応に追われている。

採石

【県内全域】

前月比でズリの出荷量は30%の落ち込みである。新年度は新海面関係で石材の出荷が見込まれる。横浜港南本牧埠頭関連で新年度に若干の硬質砂岩やズリの出荷が見込まれる。

非製造業

【総合卸売（千葉県・東京都）】

団地内では、約2000人のパート・アルバイト従業員を採用しているが、夏場以降周辺企業の労働者需要から時給が上昇、900円台が多くなってきた。年末年始の多忙

期に入り、人件費コストアップにより、収益性低下見込み。

建築材料卸売

【県内全域】

景況の変化について、11月単月では久しぶりに前年を上回ったが、前年が極端に低水準だったためにすぎない。4月以降累計では、全国平均前年比94、関東93、千葉88、全国ワースト4位。千葉県内需要は、今後も当分回復は期待できない。業界の動きについて、業容縮小・合併、模索が続く。資金面からの倒産は現在ないが、末端建材店の廃業は続いている。

自動車解体

【県内全域】

鉄スクラップ価格上昇、昨年夏の水準に戻った。円安傾向になっていることも景況としては明るい兆し。ただ、廃車発生が少なく、仕入れが高止まりしていて、収益の回復には時間がかかる。

乾物卸売

【県内全域】

景況の変化は相変わらず低調。新海苔シーズンを迎えたが、全国的に状況は悪い。特に千葉は、現在（12/6）まで新海苔入札が行われていない。不作の昨年よりもさらに海苔が獲れない。

卸売

【茂原】

商品の動きは良くありません。先行きの見通しもよくありません。

電気小売

【県内全域】

相変わらず厳しい。量販のヤマダでさえ住宅、リホームの宣伝、家電メーカーのパナソニックまでがリホームの宣伝をしている状態で、家電販売は低調です。

青果小売

【千葉市】

景況感はかなり深刻な状況です。年末を向かえるこの時期は、例年だと入荷が多くなって行くときだが、今年は全く期待できない。相場も全面高という所で、資金繰りがかなり深刻となりそう。

小売

【東金】

ファッション関連品は、軒並み減少が続いている。日用品関連は良いところと悪いところの差が出ている。食品関係は、野菜類が高値の為、相対的に減少傾向。飲食関係は、外食機会が減ってきている傾向が続いている。

小売・サービス

【柏】

商圏の縮小に消費不況が重なり、前年比・前月比共増加の事業者が居なくなった。

は初めてかも。近隣に食品系スーパーが林立して来街者が減っているのが多少影響している。衣料品不況が言われたりしてかなり立つが輪をかけて不況感が際立っている。

遊覧船

【鴨川】

10月は個人・団体客共に入込数が前月、また前年同月に比べ大幅に減少し、その結果売上・収益共に大幅な減少となった。

一般廃棄物処理

【千葉】

前月が良い結果であったことにより、前月比は景況悪化としましたが、例年11月と比べると同様化むしろよい状況であると思います。年末に向けて勢いがついたように思いません。

建設

【県内全域】

発注金額が前年比大幅な増加となっている。今月については、市原地区での高速道路関係での大型発注が目立っている。前年は12月、1月と11月を上回る発注結果となっているので、今年度も同様の発注増加に期待している。